



～安心して、気持ちよくかかれる病院～

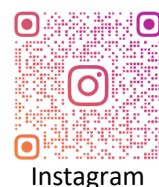
医療法人社団

中津胃腸病院

〒871-0162
大分県中津市大字永添510番地
TEL : 0979-24-1632 FAX : 0979-22-9800



ホームページ



Instagram



公式LINE

ICHO

NURSE

あなたの看護が
きっと見つかる

当院で働くことを考えてみませんか？

いい看護師は、
仕事も遊びも
いつも全力で
楽しんでいます！

「救急・外来」
「急性期一般」
「地域包括ケア」
「訪問診療」
「訪問看護」
「緩和ケア」



MESSAGE

看護部長 小野原 英美

当院は昭和55年40床で開院、平成元年現在地に移転し、112床増床となりました。消化器疾患を中心に、血液内科・緩和ケアにも取り組んでおり、平成26年11月に緩和ケア病棟を開設しました。高齢化社会を迎えるにあたり、社会が医療に求めるニーズは年々増加していくことが考えられます。看護師に求められる業務も病院の中だけでなく、地域に向けた連携が今以上に求められてきます。対応できる体制の確立、人材育成に取り組んでいます。笑顔と思いやりを持ち、働き続けられる職場を目指して試行錯誤の毎日です。ともに頑張ってもらえるスタッフを募集しています。是非、一緒に働きましょう。

【病院概要】

診療科目

外科・消化器外科・内科・消化器内科・肛門外科
リハビリテーション科・疼痛緩和内科・麻酔科

病床数

112床（急性期一般・地域包括ケア・緩和ケア）

看護体制

急性期一般入院料1（7：1看護基準）

看護単位

2病棟（急性期一般）	37床
（地域包括ケア）	15床
3病棟（地域包括ケア）	46床
緩和ケア病棟	14床
外来・手術室	

夜勤体制

変則2交替	
一般急性期・地域包括ケア病棟	3人夜勤
緩和ケア病棟	2人夜勤

看護方式

プライマリー制+セル看護提供方式

当病院は平成元年創設以来、救急告示病院として救急医療を展開してきました。外科的治療や消化器疾患を中心に重症度の高い患者さまの入院を受け入れ、急性期病棟を確立してきました。しかし、時代の変化とともに在宅医療のニーズが高まり、当病院でも院内訪問看護を設置して、退院後や通院困難な患者さまへサービスを提供してきました。同時期に理事長の意向で、緩和ケアチームを発足し入院および在宅で活動していました。

2年に1度の診療報酬改定において在宅復帰の評価が見直されたため、急性期病棟の一部を亜急性期病床へ病床編成を行い、今現在は地域包括ケア病棟に移行し早期退院と在宅移行に努めています。また、専門的な緩和ケアを行うため緩和ケア病棟へ病棟編成をしました。ACPの取り組みにより「患者の求める医療」を多職種一丸となって提供しています。終末期での在宅移行も患者さまの希望であれば全力で対応しています。

近年、在宅移行への需要が高まるなか、当病院は専属の訪問診療医を配置し訪問診療センターを設置しました。その後、訪問看護の強化を図るため、院内訪問看護から訪問看護ステーションいちょう並木を設立しました。更にかかりつけ患者さまだけでなく他の医療機関からも訪問診療および訪問看護の要望が多くなったため、訪問診療センターのスタッフ増員と訪問看護ステーションのサテライト事業所を増設しました。また、入退院や在宅移行を今まで以上に円滑に行うためには入退院支援の強化が必要不可欠であるため、新たに地域連携センター立ち上げ活動しています。

外来診療・救急医療から急性期治療、地域包括ケア、在宅医療、緩和ケアと一貫性のある医療を展開し提供し続けるよう取り組んでいます。

時代により医療情勢が著しく移り変わっても当病院は柔軟に対応して、地域に貢献できる病院を目指します。



看護理念

『尊重』『思いやり』『信頼』の
安心な看護を提供します

【看護方針】

1. 患者様を尊重し 思いやりの心で安心・安全な看護を提供します
2. 患者様の苦痛緩和をはかり生活の質（QOL）の維持・向上を支援します
3. 専門職として人間力・看護力の向上をはかり日々の看護実践に活かします
4. 地域包括ケアシステムでの連携強化をはかり安心して退院できるよう支援します
5. チーム医療として各職種との協働・連携のもとチームワークを大切に行動します



仕事内容

問診や診察の補助、バイタルサイン測定、処置・検査介助、生活に対する指導、検査結果の説明同席、事務との連携などが主な業務となります。1日に数多くの患者さまが受診するため、外来で働く看護師は限られた時間内で効率よく診療を進めていく必要があります。

また、瞬時に患者さまの状態をアセスメントする能力や、素早く必要な処置につなげる対応力が求められます。

救急対応に対する迅速な判断力や、患者さまが安心して検査、治療を受けることができるよう、患者様に寄り添う看護を提供しています。



2023年 緊急受入れ実績

■救急車受け入れ件数	594件
■時間外受入れ件数	1783件
■COVID-19入院患者数	183件

01

外来 救急外来

当院に受診される患者さまは、消化器疾患や外科的治療に関わらず様々な症状の患者様が来院されます。また、救急告示病院として24時間365日救急対応を行っており、救急看護認定看護師と救急救命士も配置しています。外来看護において、幅広い知識が必要であり、看護師として多職種との連携や、判断力、コミュニケーション能力を活かして、一人ひとりの患者さまに適切なケアを行う必要があります。短時間で多くの患者さまの状態を観察し、処置や検査の介助を行い、患者さまと家族の心情を察知しながら、相談や教育も行います。

Specialist
01

救急看護認定看護師

救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施を行います。

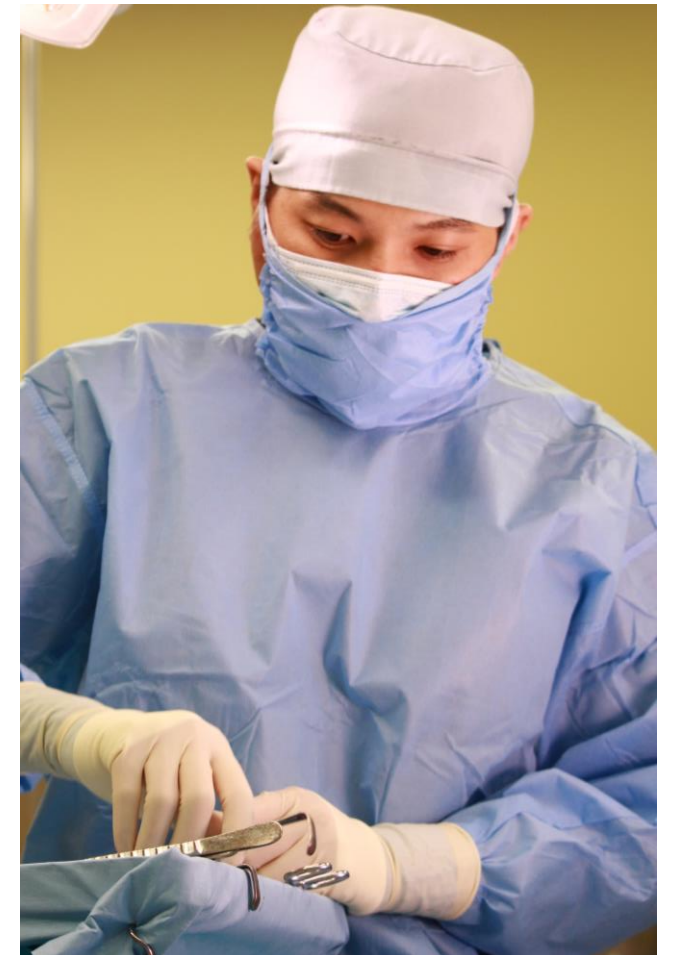




仕事内容

消化器疾患や外科的治療に関わらず、急性期の状態にある患者さまを受け入れており、全身状態の管理、手術前後のケア、検査や処置の介助、点滴や輸血、ドレーンの管理など多岐にわたります。患者さまの早期回復をすすめるために専門的な知識や看護技術が求められます。

また、急性期病棟に勤務する看護師は手術室看護師としても活動しています。術中における器械出し、外回り以外にも、術前・術後に病室へ訪問し患者さまとコミュニケーションを取り、不安軽減できるよう支援しています。急性期病棟では高度かつ専門的な知識や技術を身につける機会が多いことも、スキルアップやキャリアアップをめざす人にとって魅力といえます。



2023年 手術実績

■手術件数	737件
■消化管悪性腫瘍手術	40件
■胆石症・胆嚢疾患(良性)手術	40件
■肛門疾患手術	53件

02 急性期病棟 手術室



急性期とは、病気を発症して間もない時期、または急に症状が現れる時期を指します。そのような迅速な治療が求められる患者さまをはじめ、症状が不安定で集中的な治療を必要とする重症度の高い患者さまを受け入れて治療・処置を行う病棟が「急性期病棟」です。急性期病棟での入院期間は、ほかの病棟に比べると短い傾向にあります。症状や状態が安定した患者さまは退院または地域包括ケア病棟などへ転棟となるため、スムーズに退院・転棟できるようにサポートすることも急性期病棟で働く看護師の重要な役割です。





仕事内容

急性期病棟で治療を終えて転棟される方や緊急入院が必要になった方など状態や状況は患者さま一人ひとりで大きく違うため、知識や技術はもちろん、ホスピタリティが求められる仕事です。

当病棟に勤務する看護師は、バイタルサイン測定、診察補助や健康管理、身体の清潔ケアなど、一般的な身体管理に加え、在宅復帰をめざせるよう残存機能の維持・向上が求められるため、患者さま自身ができることに対して進んで取り組むよう退院後の生活を見据えたケアやサポートを行います。

私たちは、患者さまが無事に退院を迎えられたこと、また、退院後の患家へ訪問し、実際に自宅で生活をする患者さまを見ることで、在宅医療に必要なものをイメージでき、退院前の多職種との連携、社会資源の活用、地域との連携をより意識するようになり、新しい業務への活力やモチベーションアップへと繋がっています。



03

地域包括ケア 病棟



当病棟では、自宅や施設で療養中に症状が悪化した患者さまや急性期後に引き続き入院を要する状態の患者さま、在宅・生活復帰支援を必要とする患者さまを積極的に受け入れています。また、患者さまだけではなく患者さまを支える家族の負担軽減やサポートを実現するために「レスパイト入院」も受け入れております。急性期病棟とは違い、患者さまが自宅や施設に戻られた時にその人らしく生活できる状態と環境を整えたうえで、退院できるように支援する病棟が「地域包括ケア病棟」です。患者さまの中には「在宅での療養生活」のイメージができず、退院後の生活に不安を抱いてしまうケースは珍しくありません。退院するにあたって元の生活レベルで療養生活が可能かをアセスメントし、入院してきた日から退院を見越して、ケアとリハビリと環境調整をする退院支援がとても重要になります。適切な治療・生活環境を構築するため、多職種協働で服薬調整、栄養支援、療養相談や指導、機能訓練等を行い、住み慣れた場所での療養をサポートします。





仕事内容について

疼痛コントロール、栄養管理、褥瘡の予防やケア、胸水や腹水の管理など、患者さまの状態を見ながら日々の看護を実施します。それらに加え、患者さまの不安な気持ちを傾聴し、声かけやメンタルケアを行うことも求められます。

患者さまの状態に合わせた日常生活の援助や、心理的・社会的問題・精神的な問題にも目を向け、心の支えとなるのも看護師の役割です。また、患者さまだけでなくその家族もケアの対象となります。精神的負担、身体的負担、患者さまに代わり意思決定者としての責任・重圧による負担などさまざまであるため、病院全体でサポートしています。

変化していく患者さまの状態やニーズに合わせて、多職種でのカンファレンスを重ね、どのような方針でケアすることが最善か検討していきます。

緩和ケアに携わることで、刻々と変化する状況のなか患者さまの望みと家族の願いに寄り添い、患者さまの満足度を高められたときには大きな喜びを感じられます。



04

緩和ケア病棟

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面する患者さまとその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理的・社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確なアセスメント対処（治療・処置）を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、QOL（生命の質・人生の質・生活の質）を改善するアプローチです。当院の緩和ケアは、大分県北部地域でいち早く取り組みをはじめ、患者さまに対して、体と心の痛みを和らげる総合的ケアを提供し、患者さまが最期まで自分らしく生きられるように支援しています。また、緩和ケア外来だけでなく専門的な緩和ケアを必要とする患者さまに対し入院の受け入れも行えるよう緩和ケア病棟も設立しました。

Specialist
02

緩和ケア認定看護師

患者さまやその家族を対象に、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を緩和し、QOLを高めるのが役割です。また、家族の喪失や悲嘆に対するケアも求められています。



四季折々のイベント

緩和ケア病棟では四季折々のイベントを行っています。



【子供神楽】

最後には患者さまひとりひとりと握手していただきます。小さく力強い手に患者さまが涙を流しながら喜んでもらっています。



【花火大会】

病院の敷地内で行う夏祭りと合わせて開催しました。家族と一緒に夜空に広がる花火を見てもらいます。



【七夕祭】

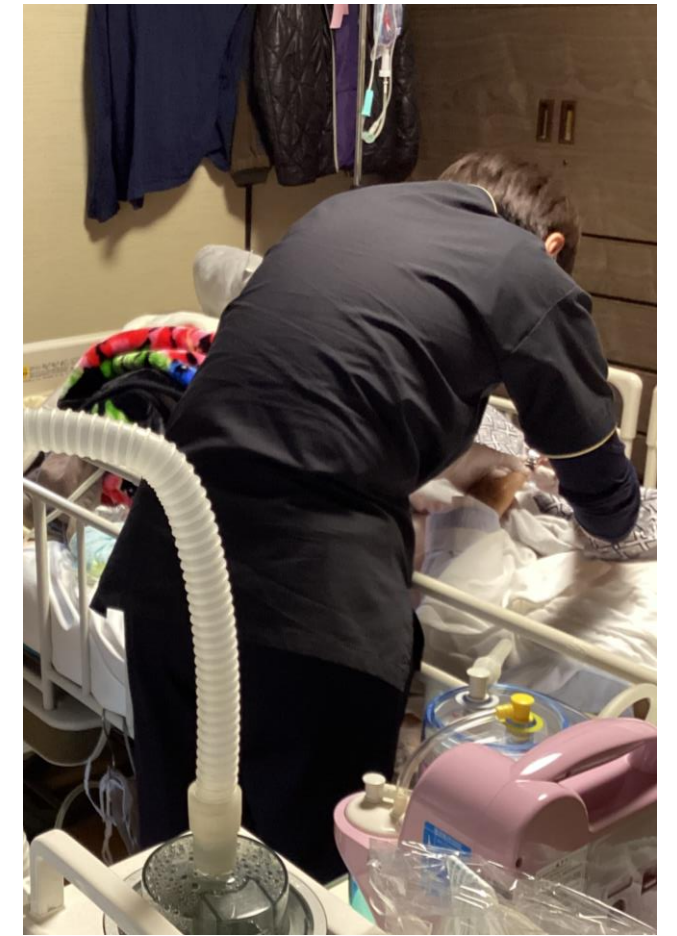
令和6年4月から病院食を完全リニューアルし、日本一美味しい病院食を目指す当院のご飯を家族と食べて頂きました。



仕事内容

訪問看護師は、食事や排泄等のさまざまな療養上の助言を行い、健康状態の安定に努めます。また、バイタルサイン測定し、心身の健康状態や障がいの状態を観察し、状態に応じた助言や緊急対応、又は予防的支援を行います。家族や利用者自身では難しい保清の介助・内服薬管理、在宅での看取りなどにも対応します。

在宅における終末期のケアでは、さまざまな事業所や職種との連携は欠かせません。その中心的な役割を担う訪問看護には、自律性が求められます。このような現場で働くことは、スキルアップに繋がり、やりがいを感じられる点が魅力です



05 在宅医療

当院は専属の訪問診療医を配置した訪問診療センターや訪問看護ステーションの在宅医療を展開するなかで、当院かかりつけの患者様のみならず他の医療機関からの要望も多くあり、訪問診療スタッフの増員および訪問看護ステーションのサテライト事業所を増設し強化を図っています。また、訪問栄養指導や訪問看護による訪問リハビリの活動にも力を入れ、外来通院や退院からの切れ目のない療養生活が送れるよう支援しております。D to P with N（患者が看護師等という場合のオンライン診療）も導入し、医師よりタイムリーに指示をもらい、検査や治療を効率的に提供できる環境となり、診察室での診察と同等の質が担保できる診療を確立しました。



訪問時にリハビリスタッフが同行し患者様のマッサージやリハビリを行います



職員が作成したタペストリーステーションに飾っています

Specialist 03

診療看護師

診療看護師は「特定行為」「相対的医行為」を行える看護のスペシャリスト



NEW

NURSE 01

長崎県出身

優しい先輩

仲の良い同期に囲まれて
私はこの病院で成長しています。

江本杏美果

担当：2病棟
学校：ファビオラ看護学校
出身：長崎県
入職：2024年



当院に入職した理由は？

中津市にある看護学校に入学した際に、働きながら学べるところを探していたところ、当院を知ったのがきっかけです。学生時代にいろんな先輩に優しくしてもらったことや、当院の診療看護師の先輩が学校で先生として講義をして頂いていたこともあって、当院でさらに学びたいと考えたからです。認定看護師にも興味があるので、一貫性のある看護を学んで、知識をさらに深めたいと、この病院を選びました。

仕事中に心がけていることは？

当日のタイムスケジュールをしっかり考えるようにしています。患者さまと向き合いながらコミュニケーションをとり、意見を傾聴するようにしています。

入職して苦労したところは？

覚えることがたくさんある事です。わからないところは先輩看護師に聞くようにしています。優しい先輩ばかりで、すぐに頼ってしまいうるようになりますが、ひとつひとつゆっくりと覚えていくようにしています。

同期の人たちとの関係は？

入職した初日に、同期の職員と一緒に研修のプログラムで、コミュニケーションをとるゲームをする機会がありました。年齢が離れている人もいますが、楽しく話をする事ができたので、今ではわからないことを教えあったり、相談したりなど、皆さんと仲良くしています。

先輩看護師やプリセプターとの関係は？

先輩やプリセプターの方は、皆さん優しく指導してくれて、親切に接してくれていると感じます。迷惑ばかりかけてしまっているのですが、この病院を選んで良かったと感じるポイントのひとつです。

休みの日は何をしていますか？
休日は、買い物に行ったり、気分転換に遠出したりしています。当院がある中津市は、大分市と北九州市の中間に位置しているので、どちらにも車で行くことができますので、よく遊びに行っています。

看護師としての目標は？
先輩達のように効率よく仕事ができる看護師になりたいです。そのためには、看護に対する知識を増やす必要があるもので、日々勉強です。また余裕をもって患者さまとしっかりと向き合っていける看護師になりたいです。

看護学生に向けて。

勉強や実習など大変で、きついこともたくさんあると思いますが、最後まであきらめずに頑張ってください。今努力していることは、働きたときに必ず役に立つと思います。私は看護師という職業をとても尊敬しています。人のため、患者さまのために活躍できることはすごいことだと思っています。私もまだまだ新人で、できない事もたくさんありますし、わからないこともたくさんあります。でも知識を増やすために私も努力します。当院は三年目の看護師からプリセプターになりますので、私も将来プリセプターとして指導できるように頑張りますので、皆さんもあきらめず一緒に頑張っていきましょう。一緒に働ける日を楽しみにしています。

NEW

NURSE 02 山口県出身



瀬川真菜

担当：2病棟
学校：岩国看護学校
出身：山口県
入職：2024年



NEW

NURSE 03 宮崎県出身



吉岡瑠莉香

担当：2病棟
学校：宮崎医療福祉専門学校
出身：宮崎県
入職：2024年



現在の仕事を教えてください。
私は、2病棟に勤務しています。
当院との出会いは？
学生時代にマイナビの合同説明会の山口会場に参加させていただいた際に、当院のブースで事務長の話を聞いて、興味を持ちインターンシップに参加したことがきっかけです。
インターンシップが楽しかったからです。他にも、病院を訪れた当日に担当してくれた先輩や周りのスタッフの雰囲気や優しく、大変な仕事だったので、この病院で働きたいとすぐに思いました。
入職して苦労したところは何ですか？
コミュニケーションです(笑)先輩と話ができるか最初は不安でした。いろいろと考えてしまっただけで、急に緊張していました。優しい先輩ばかりなので、今では些細な質問も、どんどん質問しています。
看護師としての目標は？
自分の為、患者さまの為、もっと知識をつけるように努力をしていき、患者さまから「あなたが担当で良かった」と言っていたらいいなと思います。
看護師になりたいです。
看護学生に向けて。
最初は知識や技術がないのは当然だと思って、積極的に質問してほしいです。もちろん自己学習も大切ですが、この仕事は、日々成長が実感でき、やりがいが多いと思います。みなさんが入職される時にはプリアプターが出来るように頑張ります。

当院に入職した理由は？
私もマイナビの合同説明会に参加したのがきっかけでした。宮崎県の会場で大分県の病院が沢山の学生に注目されているのを見て、私も話を聞いてみようと思ったのが最初のきっかけです。そこから、病院見学会に参加し、後日インターンシップにも参加しました。実際に働いている先輩看護師がみんな優しく、この病院で働いてみたいと思ったのが入職の理由です。
他県から来てみてどうですか？
中津市は住みやすくてあまり気にならないですね。車もそんなに多くないですし、買い物なんかの利便性も良く、いい街だと思います。宮崎県出身の先輩も多いので安心してます。
看護師としての目標は？
将来は緩和ケアの病棟で勤務したいと考えています。今は看護師としてスキルアップすることが大切だと思うので、急性期を中心にいろんな看護をたくさん学んで、自分のスキルアップができればいいと思っています。
看護学生に向けて。
是非当院のインターンシップや見学会に来てください。合同説明会などでは伝わらない魅力が当院にはたくさんあると思います。みなさんと一緒に働けるのを楽しみにしています。

新人看護師座談会

今年4月に入職した新人看護師6名に集合して頂き、いろんな質問して話を聞いてみました。

NEW



仕事には慣れましたか？



まだまだ全然って感じです。日々仕事をこなすことで精一杯ですね。



私は学生の頃から当院で働いているので、病棟の雰囲気などに戸惑うことなく働いています。ただ、学生時代とは業務内容が違うので、覚えることがいっぱいです。



僕も学生の頃から働いているので、先輩方に頼りながらですが充実した日々を送っています。



病院実習でもお世話になっていたの、病棟の雰囲気とかはつかみやすかったです。



日々先輩に助けられてばかりですが、少しずつ自分のできることが増えていると思います。



優しい先輩ばかりなので、わからないことは積極的に質問させてもらってます。

プリセプターとの関係は？



実習中に担当してくれていた先輩がそのまま担当していただいています。実習中に「この先輩のように仕事のできる看護師になりたい」と思っていた先輩です。



学生時代からよくお世話になっていた先輩です。いつもすごく優しく指導してもらっています。



仕事の事からプライベートの事までいろいろと相談のできる優しい先輩です。



カッコいい先輩です。その言葉に尽きると思います。仕事では頼ってばかりなので、早く一人前になりたいです。

同期との関係は？



仲が良いと思います。



入職時に1日かけて同期でコミュニケーションが取れるオリエンテーションを行ってもらって、打ち解けることができたかなと思います。



他部署の同期の方々も一緒に行ったので本当に盛り上がりました。



年内には同期会を開催したいですね。



やりましょう！僕がみんなに声を掛けていきたいと思っています！

当院に入職して良かったことは？



入職してすぐに多職種研修があり、病院の流れや先輩スタッフに顔を覚えてもらう機会があり、多職種のスタッフと仲良くなれるきっかけになったので、すごく働きやすい環境です。



わかります。当院のスタッフは多職種で仲の良い方が多いので、部署の垣根がない感じがしてすごくいいですね。



認定看護師の先輩も多く在籍しているので、専門的な知識を研修などで学べるのも魅力だと思います。



新人歓迎会の盛り上がりは想像してなかったぐらいすごかったです(笑)



仕事中はしっかり仕事して、遊ぶときはとことん楽しむ先輩に憧れます。この病院に入職できて、仕事もプライベートも本当に楽しいです。



入職 2年目 看護師 座談会

今回は2023年に入職した看護師3名に
当院で過ごした1年を振り返って頂き
インタビューを行いました。

Cさん(2病棟)Kさん(2病棟)Mさん(緩和ケア)

1年目を振り返っていかがですか？

C：あっという間に1年がたったな……。って感じです。今はまだ仕事をこなすことで必死で。

K：わかります。1年目に教わったこともそうですが、新人さんが入ってきたことでのプレッシャーもありますね。

M：3人で同じ病棟だったので切磋琢磨してきた、って感じですね。

2年目を迎えて心境の変化は？

M:私は、1年間急性期病棟で勤務したのちに、緩和ケア病棟に移動してきてのですが、病床数も違いますが、患者さまと向き合える時間が増えた気がします。

K:周りが少し見えてきた気がします。少し仕事にも余裕ができてきたかな。

C：1年目はほとんど手術室での勤務だったので、病棟勤務を学んでる段階です。興味のある看護の幅も広がってきたかな、と思います。

来年はプリセプターですね。

K:プレッシャーが凄いです。本当に私が教えられるか不安なのですが、一緒に学んでいければいいかな。

C：ちゃんとした答えを言えるか、今から勉強しとかなないと、って思います。間違ったことは教えたらダメなんで。

M:緩和ケアに興味のある子が増えてほしいですね。プレッシャーは特にはないですが、ちゃんと先輩になれるか不安です。

どんなプリセプターになりたい？

C:この先輩に質問すれば間違いのない！みたいなプリセプターでいたいよね。

M：そうだね！あとは話しかけやすい雰囲気というか環境を作ってあげたいな。

K：友達であり先輩であり。みたいな関係には憧れます。そんな先輩方が当院にはたくさんいるので、当院の伝統じゃないですけど、継承していければいいなって思います。

今後の目標は？

K：まずは、このプリセプターで良かったといってもらえるような先輩になりたいです。あとは、認定看護師も目指していきたいですね。

C：患者さまからもスタッフからも信頼される看護師になりたいです。少しずつでもスキルアップしていければと思います。

M：私は緩和ケアなので、患者さまやご家族に寄り添えるような看護師になりたいです。

学生に向けて一言

C:学校の友達や地元の友達とたくさん遊んで思い出を作してほしいです。学生の時しかできないことが沢山あります。私もたくさん遊びましたが、もっと遊んどけばよかったと思います。看護師になってからでも勉強はできるので、今できることを楽しんでほしいです。

M:就職活動や実習、国家試験の勉強など、今思ってもきつかったなと思います。でも、先輩含め私達も同じ経験をしています。体調を崩さず頑張してほしいです。

K：就職活動や国家試験勉強に大変な時期だと思います。ここを乗り越えて一緒に働けるのを楽しみにしています。



先輩看護師座談会

今年プリセプターを担う看護師に集結していただきました。
実際にプリセプターとして新人教育に携わる4人に座談会を企画し密着
してみました。
※左からRさん Aさん Uさん Nさん

Preceptor
Discussion

当院の看護部の特徴について

U：みんな仲がいいと思います。

N：年齢も近い人も多いし仲いいと思う。

R：各病棟ごとで仕事中はあまり関わりはないけど、配置移動とかでいろんな人と関わりができるから、知らない人がいなくなるしね。

A：Uさんも昨年まで3病棟と一緒に仕事をしていたしね。

U：本当にさみしかった。でも今は勉強だと思って頑張ってます。

N：急性期や地域包括ケアだけではなく、外来とか訪問看護や訪問診療と自分の興味のある看護を選択できるのも特徴だと思います。

当院の魅力は？

A:救急から緩和ケアまであるところだと思います。

R：それぞれ看護の特色も違うので、学びたい看護には積極的に学べます。

U：地域包括ケアから退院して、自宅で訪問診療や訪問看護を利用している患者さまも多いよね。

N：救急、急性期、地域包括ケア、訪問診療、訪問看護、緩和ケアと一貫性のある看護を学ぶこともできますね。

A：認定看護師を持つ方も多くいらっしゃるので、専門的な看護も学べます。

プリセプターとして気を付けていることは？

R：話しかけやすい雰囲気は作っています。

U：わかります。どうしても忙しくなるとバタバタするので、なるべく気かけたり、逆に「悩んでることない？」って聞いたりしてます。

N：あとはわかりやすく、適切に、教えてます。

A：そうだね。問題が起こった時も、その日のうちに解決できるように、一緒になって考えてます。

R：私は付いたことのない処置があれば積極的に参加できるように声掛けをしたりしています。

N：私達が新人の頃、プリセプターの方にとても良くしていただいたので、私達もそんなプリセプターでいたいと思います。答えを最初から教えるのではなく、ちゃんと考えてほしいと思って接しています。

A：Uさんは異動したばかりでプリセプターだけど大変じゃない？

U：本当に大変です。嘘は教えられないので、日々勉強ですね。時にはプリセプティーと一緒に考えてます。

A:Rさんは男性看護師のプリセプターだけど何か気を付けていることはある？

R：プライドを傷つけないように(笑)そんなことはないですが、飲み込みも行動も早いので、ブレイキを踏んで一旦考える時間をとってもらってます。

N：失敗した時もなんで失敗したのか、どうしたら防げたのか考えてもらっています。1年目は失敗するものだと思って私達も構えているので、チェックばかりしています。

どんな後輩に入職してほしいですか？

N：どんな後輩でもたくさん入職してくれると嬉しいです。

A：確かにそこは大切だね。

U:私はコミュニケーションとってくれる人が良いです。

R：わかります。仕事でわからないことも聞いてくれる方がいいですね。

A：確かに聞いてくれる人の方がいいよね。

N：あと、ONとOFFの区別がしっかりしている人が良いですね。仕事はちゃんと仕事する。遊ぶときはしっかり遊ぶ。私達みたいな(笑)

全員：(笑)

中津市のここがオススメ

U：からあげ

全員：(笑)

R：最近はオシャレなカフェも多くできてますし、スタバもできた。ご飯もおいしいところが多いです。

N：居酒屋も多いし、日ノ出町商店街はよく行きます。

A：中津市はお店がギュッと集まっているから住みやすいね。

U：都会過ぎないので、一人暮らしにはオススメです。

新人にとってどんなプリセプターでいたいですか？

N：自分達がプリセプターの先輩を目標にしたように、自分達を目標にもらえるような、頼りになるプリセプターでいたいと思っています。

R：看護師という仕事は、きついこともたくさんあって、悩むこともたくさんあると思うけど、そこに気が付いてあげることができる、そんなプリセプターでいたいですね。

A：話しかけやすい雰囲気を作ってあげたいですね。先輩ってだけで話しかけにくいと思うので、そこはなくてあげたいと思います。

U：私も頼りになるプリセプターでいたいですね。職場では先輩としてしっかり指導しますが、新人さんとご飯に行ったりしたいです。

A：みなさんと働ける日を楽しみにしています。





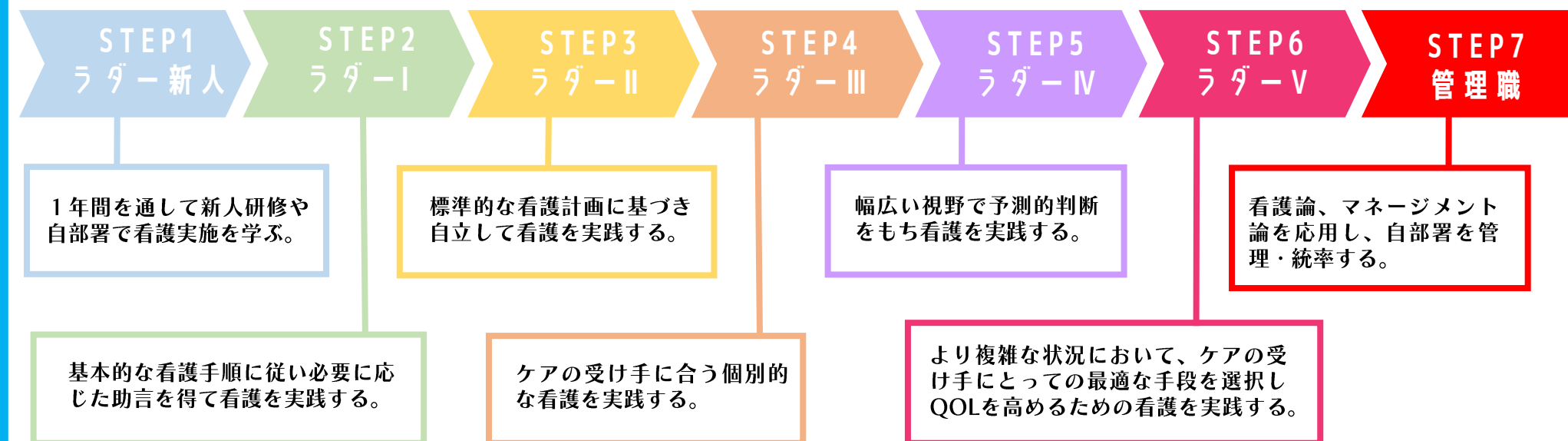
教育方針

中津胃腸病院では卒後1年を通して新人看護師を育成する新人教育プログラムがあります。新人のときは、だれでも不安がいっぱいですよね。そんな新人看護師の皆さんと一緒に考え、看護能力を高めていくプログラムを実践していきます。プリセプターシップ体制をとり看護師として成長する過程をフォローします。



ラダー制度

計画的にキャリアアップを目指すプログラムです。看護師の強みがもてるよう、当院での特色のある看護を学び、将来の目標に向かって着実に成長できるように支援します。



認定看護師

当院は専門分野でのプロフェッショナルな看護師を増やすため、看護スキル・知識の向上に病院全体でサポートを行っています。

NP 診療看護師

患者に必要とされる診療行為を医師や他の医療従事者と連携・協働し、効果的・効率的・タイムリーに実践できる能力を備えた看護師を言います。一定期間専門的知識・技術を学びます。

資格取得支援制度

資格取得に向けた支援制度があります。それぞれ専門分野を生かした看護実績をサポートし、質の高い看護を提供できるよう活動します。

プリセプター制度

最も身近な先輩として指導、サポートし相談に乗ります。現場では、他の看護師やスタッフなど病棟全体で新人育成のフォローをします。

中津胃腸病院の年間スケジュールです。当院は職員向けや患者様向けイベントも、
全力で楽しみ全力で楽しませよう、全職員取り組んでいます。



他部署研修や認定看護師との勉強会など様々な研修を行っています。



辞令交付式
新人歓迎会
他部署研修

看護手順・技術研修
胃管挿入研修
PEG研修
経管栄養研修
輸血研修

いちよう大感謝祭
看護手順研修
救急蘇生研修
気管内挿管の介助研修

子供神楽
外来研修

忘年会
麻薬・薬剤管理研修
地域包括ケア研修
緩和ケア研修

化学療法研修

合同説明会参加(マイナビ)

インターンシップ・見学会・説明会

隨時受入可

採用試験

隨時受入可

避難訓練
看護手順・技術研修

納涼会
グループワーク研修

機能評価
RelayForLife

大分県病院学会
避難訓練

他部署研修

1 年振り返り研修

**見学会&インターンシップ
随時開催**



マイナビ行動説明会
随時参加予定

6月から随時開催
3月末まで募集



看護師 1DAY

8:00
出勤

情報収集

9:15
保清

9:00
朝礼

10:00
検温

14:00
検温

12:00
食事介助

16:00
Dr報告

17:00
退勤

Hello! Nakatsu

入職すると暮らすことになる中津市を
新人看護師と共にレポートいたします。
是非中津市に来た際は行ってみてね。

1 中津 からあげ

中津と言えば？の質問にほとんどの方は
「からあげ」と答えるのではないのでしょうか？
中津市は、からあげの聖地ともいわれ、コンビニより多くのからあげ専門店があります。お店ごとに味が違うので、お気に入りのお店を見つけてみてください。



2 青の洞門



中津市耶馬溪町にある青の洞門。
秋には紅葉がきれいで、有名な観光地です。紅葉のシーズンはバイクのツーリングや観光客で賑わいを見せ、夜になると幻想的なライトアップを行っています。



3 中津城

1588年に豊臣秀吉の側近で軍師でもあった黒田官兵衛が築城し、今治城と高松城に並ぶ日本三大水城の1つに数えられています。二の丸公園には多くの桜の木があり、春になると花見などで賑わいを見せています。



4 合元寺



赤壁として有名な合元寺ですが、中津城近辺には城下町の雰囲気が多く残っています。夏には中津祇園があり、中津市民だけではなく、多くの観光客も参加するお祭りです。



5 日ノ出町 商店街



JR中津駅近くにある商店街で、昼間は商店街。夜は居酒屋などが多く賑わいを見せるお気に入りの場所です。おいしいご飯屋さんも多くあり、お気に入りのお店を見つけるのも良いかもしれません。